（別紙様式）　　（Ａ３判横）

令和７年度　学校自己評価システムシート（県立上尾高等学校）

s11

目指す学校像	「文武不岐・自主自律」の校訓のもと、豊かな人間性を兼ね備えた社会に貢献できる生徒を育てる。

重点目標	1　主体的な学びを促進する魅力ある授業を展開し、より一層の学力向上を実現する。 2　生徒主体の教育活動を実践することで、心身ともにたくましく規律ある生徒を育成する。 3　学科の特性を生かした進路指導により、将来への自覚を高めるとともに、未来を切り拓く職業観・倫理観を育成する。 4　地域・保護者・関係機関との連携強化と効果的な情報発信により、愛され信頼される学校づくりを推進する。

達成度		
	A	ほぼ達成（８割以上）
	B	概ね達成（６割以上）
	C	変化の兆し（４割以上）
	D	不十分（４割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者　学校関係者　６名
　　生徒　６名
　　事務局（教職員）　９名

※　重点目標は３つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※　番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価

年度目標

番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	【現状】 授業効果を高めるため、ＩＣＴ機器を活用した授業やオンラインを活用した授業改善を行っている。授業規律については、秩序が保たれており、自主的かつ積極的に学ぶ生徒が多い。 【課題】 ＩＣＴ機器を活用した授業改善は進んでいる一方、教科間や教員間での教材共有や学習効果に課題がある。その上で生徒の理解度向上をはかり、進路実現につなげていく。	主体的な学びを促進し、生徒の学習意欲と理解度を伸長する授業改善を行う。	①新入生全員にｉＰａｄを導入し、ＩＣＴ機器やＡＬを融合した、新しい学びのスタイルをトライ＆エラーで授業工夫を実践・改善する。 ②進路実現に向けた授業を展開するとともに、家庭学習定着を推進し、主体的に学ぶ生徒を育成する。	①1 人 1 台端末を有効活用した授業実践ができたか。 ①効果を得られたＩＣＴ活用方法や教材を教職員間で共有し、有効活用できたか。 ①授業満足度の高い生徒の割合が増加したか。 ②教職員が授業規律を実践できたか。 ②各学年・教科が協力し、進路実現に向けて、生徒アンケートにより、学びの喜びが得られる授業や学力向上が得られたか。
2	【現状】 生徒の自主性と心のケアにも配慮しながら部活動や行事開催に向けて組織的に取り組んでいる。 基本的生活習慣も確立しており、真面目で落ち着いた生活を送っている。 【課題】 日常の生徒の様子を観察しつつ、生徒の社会性を育成することが課題である。また、日々の生徒の変化や心のケアを注意深く観察し、組織的な指導を継続する。	他人との関わりの中で、主体的な規範意識の醸成とコロナ緩和に伴う社会性の充実を行う。	①自主自律の精神を体現すべく、生徒会や各種生徒委員会を中心として、学校行事を企画・運営させる。 ②継続的な登校指導や個に応じた丁寧な生徒指導に努め、生徒自らが規範意識をさらに高めるよう指導する。 ③組織的な生徒相談体制とし、SC や特別支援コーディネーター等の外部機関と連携し、教員の知識と理解を深める。 ④部活動の緻密で効果的な指導体制を追求し、部活動をさらに活性化させ、社会性を身につける。	①生徒アンケート及び保護者アンケートにより学校行事への満足度は向上したか。 ②個に応じた丁寧な指導による健全な心と規範意識が醸成できたか。 ③特別支援に対する知識と対応法を理解できたか。そのうえで、ＳＣや特別支援コーディネーターとの連携による効果は得られたか。 ④生徒の部活動加入率、生徒や保護者の期待に応える活動ができたか。
3	【現状】 進路指導部の計画の下、外部の教育力を生かしながら、生徒一人ひとりが高い進路目標を設定し、実践する指導を行っており、成果が表れている。 【課題】 ３年後を見据えた自己の進路実現に対する高い目標と進路実現に向けた学習習慣の定着を指導する。	早期から段階的に高い進路目標を持たせ、行ける学校から行きたい学校へ向けた意識向上とサポート体制を強化する。	①長期休業中の進学補習・自習室開設・進学補講を積極的に行い、継続性を持たせた学びの機会を創出する。 ②模擬テスト等の振り返りや模擬面接等の実施により自己分析を行う。 ③進路の保護者向け説明会・研修会・情報提供を行う。	①進学補講、補習、対策講座の参加者数は増加したか。 ①第一志望大学合格者数は、増加したか。 ①公務員試験等の合格率及び学校斡旋就職率は向上したか。 ②進路関係情報の提供回数や進路面談は増加したか。 ③保護者アンケートを分析することで、生徒や保護者のニーズに対応できたか。
4	【現状】 保護者や中学生等に対し、鮮度の高い情報を積極的に発信する学校説明会や新たな生徒募集の方策を図っている。学校の魅力や生徒の活動状況を学校ＨＰやInstagram 等の情報発信コンテンツを増やし、本校の魅力発信を行っている。 【課題】 地域や保護者と連携し、よりよい情報交換を行うことで課題を発見し、教育活動を改善することが必要である。	上尾高校の強みや特色ある教育活動をきめ細かく情報発信しつつ、連携体制を構築する。	①学校説明会や学校公開を生徒主体のスタイルで、本校の魅力や特色ある教育活動を積極的に発信する。 ②情報伝達ツールとしての iPad の利用、そして引き続き一斉メールや Google classroom 等の活用により、生徒・保護者への内部向け情報発信頻度を高める。 ③総探や各種イベント、部活動によるコラボなどの地元上尾市を中心とした機関と連携し、地元に認知される活動を行う。	①　学校ＨＰの閲覧数や Instagram のフォロワー数が増加したか。 ①中学生のニーズを把握し、志願者数は増加したか。 ②ICT を活用しながら、生徒や保護者向けに、校内情報数（伝達事項及び生徒の活躍等）は増加したか。 ③地域イベントやボランティアなどの参加者数及び地域へのイメージアップができたか。

年度評価（　１月１６日　現在）

評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
①特に１・２年生の授業において、Metamoji を活用した先端的授業を展開することができた。 ①教員間での教材の共有や ICT を活用した授業スタイルの情報共有なども進展した。 ②昨年度に引き続き、今年度も授業規律が適切に確保されている。 ②早朝や放課後の補習を実施し、長期休業中の補講を 40 講座開講するなど、生徒の学力向上、進路実現に向けた取り組みを充実させることができた。	A	・Metamoji を十分に活用できていることを踏まえ、他の ICT ツールを活用することで、さらに授業の充実を目指す必要がある。 ・教職員の ICT 等に関する知識や技術の共有化を更に進め、学校全体としてスキルアップを図っていく。また、平均学習時間が 1 時間未満の生徒も多いことから、家庭学習の習慣を身に着けさせる必要がある。
①生徒アンケートで「学校行事が盛り上がる」との回答が 69.0%に上り、生徒の学校行事への満足度は高い。 ①文化祭等で、全日制と定時制の生徒会の連携が進んだ。 ②③本年度も引き続き、担任、養護教諭、スクールカウンセラーが連携して生徒のケアを丁寧かつ迅速に行った。 ④部活動（生徒会）加入率は 70.6%で、昨年度より減少したが、加入している多くの生徒が意欲的に部活動に取り組み、成果を出している。	B	・学校行事の在り方や運営方法などにおいて、生徒会等が主体となり、さらに改善していく必要がある。 ・多様な生徒が在籍している状況下、生徒個々の特性を理解しつつ、生徒をサポートしていく必要がある。 ・部活動をさらに充実させるために、生徒の主体性を育成する指導を行っていく。
①長期休業中の進学補講参加者数は延べ 890 名で、引き続き高い水準を維持している。 ①進路決定状況（延べ数）：四年制大学 172 名、短大 6 名、専門学校 45 名、公務員 35 名、民間就職１名（１月７現在） ②学校を挙げて小論文指導や面接練習を実施するとともに、外部模試、看護模試、公務員模試を複数回実施した。 ③生徒アンケートの満足度 93.0%、保護者アンケートの満足度 93.9%と高い水準であった。	A	・生徒の進路実現のため、次年度も長期休業中等の補講を充実させる。 ・引き続き進路情報等の適切な時期における提供を行うとともに、生徒のニーズに応じた指導を工夫していく。 ・「行ける学校から行きたい学校へ」向けた生徒の意識向上をサポートしていく。
①②学校 HP のアクセスは好調である。加えて、今年始めたインスタグラムのフォロワーは 3126 件（１月１３日現在）となり高いニーズである。 ①オープンスクール５回、学校見学ツアー2回、学校説明会３回、１年生の母校訪問２回実施の他、各種進路相談会等にも多数参加。 ①志願者倍率：普通科 1.87、商業科 1.12（１２月１５日現在） ③各種部活動が地域のイベントに参加し、本校をアピールした。	A	・HP やインスタグラムを通じた情報発信をさらに充実させ、生徒・保護者・中学生のニーズを満たしていく。 ・効果的な生徒募集活動のため、本年度の活動を振り返り、必要に応じて改善していく。 ・地域のイベント等に積極的に参加していく。

学校関係者評価

実施日　令和８年２月３日

学校関係者からの意見・要望・評価等
昨年度以上にＩＣＴ機器を活用した授業が展開されている。引き続き、教職員等の情報リテラシーの格差をなくすような取組を期待したい。また、ＩＣＴ機器の活用が全てではないため、紙の活用の良さも再認識して校務に取り組んでいただきたい。
上尾高校の文化である各種学校行事は、昨年度以上に生徒の主体性を重視したものだった。部活動のあり方については、変化していることから効果的な活動も検討して欲しい。また、野球部以外の大会予定もＨＰのトップにあげて頂けるとありがたい。
アンケート結果から、生徒及び保護者からの進路指導の取組については、満足度が高いと言える。次年度に向けても、早期に目標を持たせるとともに丁寧な情報提供等の指導を心がけて欲しい。
インスタグラムのフォロワー数が大きく増えていることはとても良いことである。吹奏楽部をはじめ、多くの部活動で地域の活動に積極的に関わっている。これらの取組をＨＰやインスタグラムで積極的に発信していってほしい。

（別紙様式）

（Ａ３判横）